

銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name	国土無双	e-mail	
Title			
Message			
<div style="border: 1px solid gray; height: 100px; width: 100%;"></div>			
<input type="button" value="とうこう"/>			

[914] "日本のメダル第1号 おめでとう御座います！！" 2008年8月9日 20時14分

三八(さんぱち)さん e-mail

又〃、三八です。

さて、谷亮子選手は三位決定戦で一本勝ちをして銅メダルを取りました。日本人のメダル第1号選手ですね。おめでとう御座います！！しかし、ご本人にしてはオリンピックでは金メダルと銀メダルしか取られていないので、複雑な御心境だと思います。それにしてもルーマニアの選手は強かったですね。ヨーロッパ王者が金メダルを獲得されました。流石です。

くどい様ですが、未だ試合をなさっていない日本選手のご活躍を期待致します。

最後に、頑張れ日本！！

[913] "国土無双さん 大変失礼かも知れませんが！！ブルーアイズさん 残念でしたね！！" 2008年8月9日 19時23分

三八(さんぱち)さん e-mail

今晚は、三八です。

先ずは、国土無双さん。僭越で恐縮ですが、対人関係も含めてご苦労が多いと思います。激務ですし…。ため息をつけるのはご家庭だけだと思います。大変失礼かも

知れませんが、お母様のお言葉は励ましたと思います！！

次に、ブルーアイズさん。谷亮子選手は残念でしたね！！しかし、銅メダルの期待は有ります。他にも多くの競技でメダルを期待しており、アテネオリンピックよりも多く取って頂きたいものです。

では、失礼します。

[912] 北京オリンピックが始まりましたね 2008年8月9日 17時28分

ブルーアイズさん e-mail

こんにちは。ブルーアイズです。

国土無双さん、書き込み読みました。
ブルーアイズからしますと国土無双さんはちゃんとした仕事に就かれてうらやましいように思いますが、やはり人にはわからない悩みやいろいろなあるんでしょうね。
休みの日ぐらいため息をついてもいいのではないのでしょうか。

ところでブルーアイズはテレビで北京オリンピック観戦をしていました。
ブルーアイズは特に柔道に注目しています。
ヤワラちゃんこと谷亮子選手にはぜひ金メダルを取ってほしいものです。

ブルーアイズは最近書き込むことがあまり思いつかなくなっていました。
また面白そうなお知らせがありましたら書こうと思います。

それではみなさん、良い週末をお過ごしください。

[911] 訂正 2008年8月9日 14時28分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

[910]の書き込みの「終末」を「週末」に訂正します。
誤字脱字が多く済みません。

[910] ため息が多い国土無双 2008年8月9日 14時26分

国土無双さん e-mail

こんにちは、国土無双です。

最近、めっきり、書き込み減ってしまいましたね。

ご事情があると思いますので仕方ありません。

ところで、最近、国土無双は仕事がオフのとき家でため息をついていることが多く、母親に注意されます。

そんなに仕事が嫌なら作業所に戻れば良いじゃないかと言われます。

暑さで、疲労が溜まっているのかもしれませんが、休みの日ぐらいため息の一つもつきたくなる国土無双です。

他愛無い愚痴ですが書き込みします。

ではでは、皆様、良い終末を。

[909] 日本の児童の15%が精神病様体験あり

2008年8月5日 14時35分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

続きです。

Q & A

早期支援とはどういうことですか？

未治療期間が短いほど予後が良いことが分かってきたこと、思春期精神病様体験者が日本でも15%いることが最近分かったこと(都立松沢病院・岡崎院長調査)、しかもこの大事な時期に役立つ医療支援がなかったことが明らかになり、日本でも取り組みの準備が始まっています。

世界の動きは、WHO(世界保健機構)と国際早期精神疾患協会の早期支援を支持するニューキャッスル宣言(2004年)を得て各国で動きが始まっています。しかし日本では厚労省担当部門が「ハヤリかどうか慎重な検討が必要」といっています。

英国ではどのような取り組みをしたのですか？

1994年バーミンガムの一地域で始まった早期支援・家族支援は、99年には国家が積極的に推進することを決め「今後10年間の精神保健改革ビジョン」など次々に推進策が具体化しています。

この運動の中心に今回来日したJ・スミスさん(臨床心理士)がいますが、当事者・家族の団体(リシンク)が、ニーズ調査や政策提起、大規模キャンペーン、専門家・研究機関との支持協力関係を持って取組んできたことも大きな推進力になっています。

私が理事を務める、特定非営利活動法人「さくら会」は、早期支援・家族支援を推進したいと考えています。日本の精神障害の施策を振り返って見ますと、入院中心であったことの弊害が顕著です。

そのため、現行の自立支援法になっても利用できる精神障害者が他障害に較べて極端に少ないこと(障害者自立支援法の見直しに向けて 社会保障制度審障害者部

会)とか、80%近くが家族と同居しているといった「当事者・家族問題」があること(今後の精神保健医療福祉のあり方検討会)などが指摘されています。

精神疾患を抱えた当事者・家族が、地域生活をするうえで必要としている社会サービスができていません。第一「人々がお互いの違いを尊敬・尊重しあう」「メンタルヘルスのことを誰もが理解している」といった社会を現実として想像しにくいのです。私達さくら会は6月の理事会で都立松沢病院の岡崎院長・西田研究員チームと連携して取り組むことを決めました。

児童の15%が精神病様体験ありというのは国土無双も吃驚しましたが、早期支援で、治療の予後も良くなるとのことで、精神病体験の早期発見望みます。

[908] 日本の児童の15%が精神病様体験あり 2008年8月5日 14時31分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

先程の記事の続きです。

悲観主義に彩られたサービスでは沈滞する

思春期に精神病様体験(妄想や幻聴)をした若者たちは、強い不安にさらされます。この重要な時期、英国では1年から1年半も適切な治療サービスに行き着かないのが実態でした。この遅れのため若者は危機的状況が生まれ、入院や強制入院、警察の保護、多大なトラウマといった経験をしています。またこの間家族の不安にも関心が払われませんでした。

「たまらないのは可能性が失われてしまったことです。最初の4年間の治療のために娘の能力がどのくらい失われてしまったのでしょうか。私たちには分からない」とある母親は言っています。「仕事がなく、彼女もいない、テレビもない、本当に何もない……。まるで大きな落とし穴に落ちてしまって出られない感じでした」と当事者は言いました。

精神病早期支援宣言は、最新の神経科学の情報提供、家族支援、早期発見・支援

こうした事態を変えるため「精神病早期支援宣言」(1999)が発せられました。早期発見、未治療期間を減らす、発症に続く3～5年が重要である、家族にも当然支援を、偏見や強制を最小限にしながら薬物療法や心理社会的支援による回復を促す、鬱や自殺のような2次的な問題が広がるのを防ぐ、地域の社会サービスの調整を進めることになったのです。

早期支援チームのメンバーはすべて家族支援の訓練を受ける

早期支援は患者の自宅で会うことがほとんどです。90%の例で患者の自宅で家族と会って家族支援をおこないます。ときには学校、大学、かかりつけ医のクリニックを選択することもあります。家族教育グループと介護者支援ミーティングは地域の施設でおこなわれます。家族があげた懸念に気を配り、家族と一緒に患者に関わるようにします。家族支援の多くは、早期支援ケースマネージャー(精神保健看護師、作業療法士、ソーシャルワーカーなど)がおこなっています。

続きます

[907] 日本の児童の15%が精神病様体験あり 2008年8月5日 14時27分

国土無双さん e-mail

こんにちは、国土無双です。

今日は国土無双は、公休日でしたが、午前中、爆睡してました。
夏はやはり疲れます。
ところで、精神障がいに関するネット情報見つけたので投稿します。

日本の児童の15%が精神病様体験あり
堀江紀一2008/08/05 JAN JANニュース

日本の児童の15%が精神病様体験(妄想や幻聴)をしています。地域で精神障害の早期支援に取り組み、国の計画にまで広げた英国の専門家が来日し、早期発見、早期支援の重要性を報告しました。

日本の児童は、その15%が精神病様体験(妄想や幻聴)をしています。思春期における精神病様体験の問題は、世界的には2004年ニューキャッスル宣言から始まった最近の問題で、日本では専門家のみならず、こうした問題を専門領域とするジャーナリストもその意味を理解しきっていないようで、困っています。

6月22日、特定非営利活動法人・メンタルケア協議会が「精神障害者の家族支援とEarly Interventionを考える ～英国の経験に学ぶ～」シンポジウムを、東京・神田駿河台の明治大学で開催しました。英国から、地域で早期支援に取り組み、それを国家計画に広げ、さらにWHOの支持を受けて世界で取り組んでいるJ・スミスさんが来日し、貴重な報告をしました。

発病3年～5年が必要な支援サービスを受けるべき重要な時期です

英国では、1999年から発病早期の若者に、包括的支援サービスを彼(彼女)らが望むところで 多くの場合家庭で 受けることができるようになりました。これは早期発見・早期治療がその後の症状をより良好にしていくことが研究結果から得られたからです。この早期支援を推進するため英国精神保健研究所と当事者・家族の団体(リシンク)は共同活動で国家プログラムを作り推進しています。

早期支援サービスのその後の経過は、取扱件数目標、財政的な運営見通し、自殺率の減少などの指標によって費用対効果を測定しています。有効性の論拠がさらに強固になって、その結果現在英国の約80%の地域で早期支援サービスを利用することが可能になりました。

[906] 自立支援法撤廃のブログ 2008年8月3日 21時10分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

今日は暑いですね。
国土無双も少々夏バテ気味です。
明日も暑いようで、出勤するの少し嫌ですが、何とか乗り切ります。

ところで、面白いブログのを見つけたので紹介します。

「障害者自立支援法」撤廃！怒りネット関西のブログ開始

投稿者: 高見元博

突然すみません。怒りネット関西のブログを始めました。いろいろなページを用意しています。「障害者自立支援法」の撤廃を求める中身です。「障害者」の生存権を否定する「自立支援法」は撤廃以外にありません。連帯の輪を広げていきたいのでよろしくごらん下さい。怒りネット関西はフルネームを「怒っているぞ！障害者切りすて！ネットワーク関西」といいます。「障害者」介助が有料化されたのをきっかけにこれを廃止するために活動しています。「障害者」が生きていくうえで必要な食べる、風呂に入る、排泄する、などについて料金を取るとというのが「自立支援法」です。なぜ生きていくだけのことにお金を払わないといけないのでしょうか。法の廃止のために今年も9月21日に集会を開きます。9月21日日曜日の午後1時半に西宮勤労会館で集いを開きます。そちらの方もよろしくお願いします。

<http://ikari-net.cocolog-nifty.com/>

以上です。関西の方のパワー溢れる、自立支援法撤廃論素晴らしいと思います。国土無双はブログも拝見しましたが、非常にいいこと書いてます。ブログの設立者も精神障がい者の方です。ネット社会で、声なき声が、つながるよう、連帯して行きましょう！！

(この掲示板も、精神障がい者の連帯の場になればいいと思います。銀杏企画三丁目の運営者の方の好意により成り立っていますが・・・)

[905] 1万人突破しました！！ 2008年8月2日 20時44分

国土無双さん e-mail

またまた、国土無双です。

掲示板の、訪問者のカウンター確認したら、1万人突破しました。
いつからカウンターがついたのかわかりませんが、おめでたいことだと思います。
イチローではありませんが3000本安打の次には次の課題が待ち受けてます。
通過点だと思い、こつこつカウンターの数が増えるように、掲示板の書き込みも面白い物にしていきましょう。
(ただし、国土無双は面白味の無い人間なのでいつもの書き込みで行きますので悪しからず…)

まへのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

914

記事削除

powered by **du one**
NET